

人を大切にする力・自分で表現する力・チャレンジする力

なかすじっ子



2025年

2月14日

No.20

文責：永野

四万十市立中筋小学校 学校通信

中筋子どもフェスティバル開催

2月8日（土）には保護者・地域の大勢の方々にお越しいただきありがとうございました。今年度は中筋保育所さんとも一緒に開催でき、小学生の児童は歌の練習時には園児の皆さんと一緒にということがあり、お手本の姿で行動・歌に励みました。

小学校では、この日のためにこれまでの学習の成果が発揮できるよう、短時間での練習計画により本番を迎えることができました。本番に一番の力を発揮できることは難しい事です。練習を重ねて、クラスみんなで取組んできた自信が、本番の子どもたちの姿に表されました。普段見る顔とは違う子どもたちの姿が見えたのではないのでしょうか。

声の大きさ、表現、動き、恥ずかしさを乗り越えて見せることに集中した子どもたちでした。たくさんの応援をありがとうございました。



ふるさと発見！ 四万十の子ども研究発表会

1月31日（金）には、四万十市の各小学校の代表が集まり、各学校で学習を進めている「ふるさと教育」についてしまんとぴあで発表会が行われました。本校からの代表は1・2年生で、生活科で学習してきた学びを「中すじにはどんないいところがあるのかな？～レッツゴー 中すじたんけんたい～」と題して中筋の各方面を探検して見つけたもの、気づいたことをまとめて発表しました。探検にはタブレットも持参で、自分で撮ったという写真もプレゼンで紹介してくれました。

体育館で練習を始めた時には声は小さく、ごそごと動いたり、目は色々な物へ移ったりと気になる要素があったのですが、練習するごとに声は大きく、場所の入れ替わりも素早くなり、しまんとぴあでの本番の出だしのみんなでの第一声は声が大きく、振りも大きく張り切った姿がとてまかっこよかったです。子どもたちが行事を重ねるごとに自信をつけ、成長して行く姿が見えてきます。



本物の歌声

1月21日（火）には「しまんとぴあアウトリーチ公演」を中筋小学校音楽室で開催しました。四万十市出身で声楽家の森翔梧さんにお越しいただき、バリトンの深みのある生の声を聴かせていただきました。空気が震えているかのような響く声、豊かに表現する表情を間近で見るとは初めての児童が多く、真剣に聴く上級生と笑いが出る下級生の姿がありました。

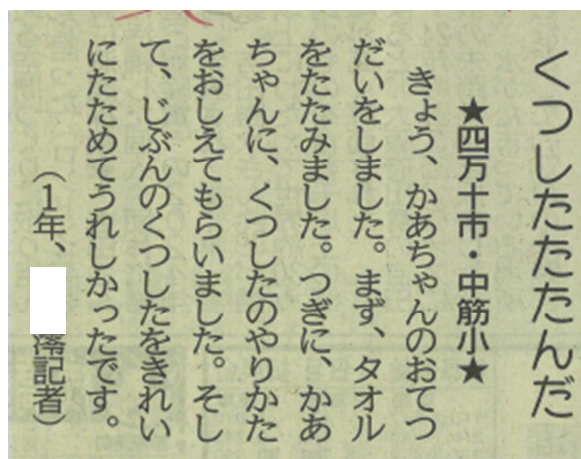
本物を見るということは心も何かしら刺激を受けるいい機会です。またアウトリーチ型のお誘いがあれば申し込みしたいと思います。



～児童の感想～

- ・一緒に校歌を歌ったので卒業式で習った事を活かしたいです。
- ・今日のコンサートは楽しかったしきれいな声を出すコツなどを教えてもらいました。迫力のあるコンサートをやってくれたり、一緒に歌ったりしてくれて嬉しかったです。
- ・あんな低い声で歌うのは初めて聞きました。歌だけでなく、表情でも表していてすごいと思いました。声の大小も分かれていてすごかったです。ピアノでは魔王を初めて生で聞きました。ものすごく迫力があってすごかったです。魔王を弾ける人になりたいです。

2/13



保護者・地域の皆様へのお礼

年末に空き缶・新聞紙・段ボール等の回収をお願いさせていただきました。その後、考えていた以上に回収率が良く、早めの業者への依頼をお願いしたことでした。収益になります事、大変ありがたく思っております。ご協力ありがとうございました。

現在も引き続き回収を行っておりますので、構わないときに校舎裏の倉庫へお持ちより下さい。

集めているもの：空き缶・新聞紙・包装紙・紙の箱類・段ボール

※ 必ず新聞紙・段ボールは縛って下さい。